

境界の彼方
Beyond the Boundary



love y dove y
extra chorus

presented by nekochigura



私の名を呼ぶ
声にする。



甘く甘く
溶けて
しまいたい
熱量を持つて。

聞き慣れた
その声が
少しづつ
熱を帯びていく。



私はきつと
この瞬間を
待っている。

何千年も
前から。

何年も
何十年も。



ずっと——



フリーレン。
触れても
いいかい……？

うん。



……そうだね。



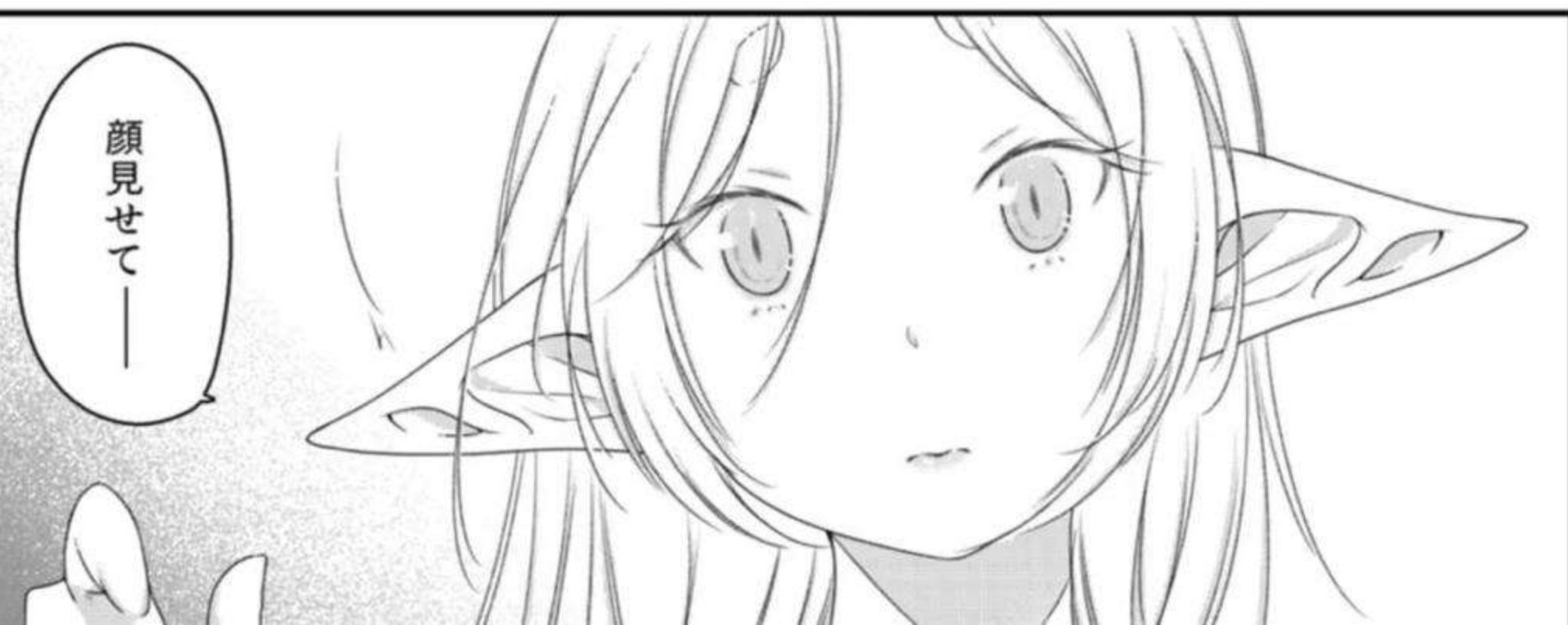
フリーレン……
嫌だったら……

ヒンメルが
私に触れるの、
嫌だなんて思
った事
一度もないよ。

……いつも言ってる。














愛してる。

編み続けた想いが
届くように。

編み続けた願いが
叶うように。



私達の未来は
これから先も
紡がれていく。



きっと私は
この感情を
知るために

永い時を
かけて
旅をして
いたんだね。

ねえ
ンメル。

私が見つけた
この気持ち

今度はちゃんと
言葉にして
伝えるよ。

私も貴方を
永遠に



事後初めてヒメにあり
先に起きたフリーシンの
考えたこと。



続く。



ヒンメル
起きて。

寝坊は
ダメなんですよ。



すゝ

ヒンメル。



ん…フリーレン…
ごめん…昨日は
そのまま…

まずは…お風呂と…
朝ご飯だね。



ぎゅ



え…何？

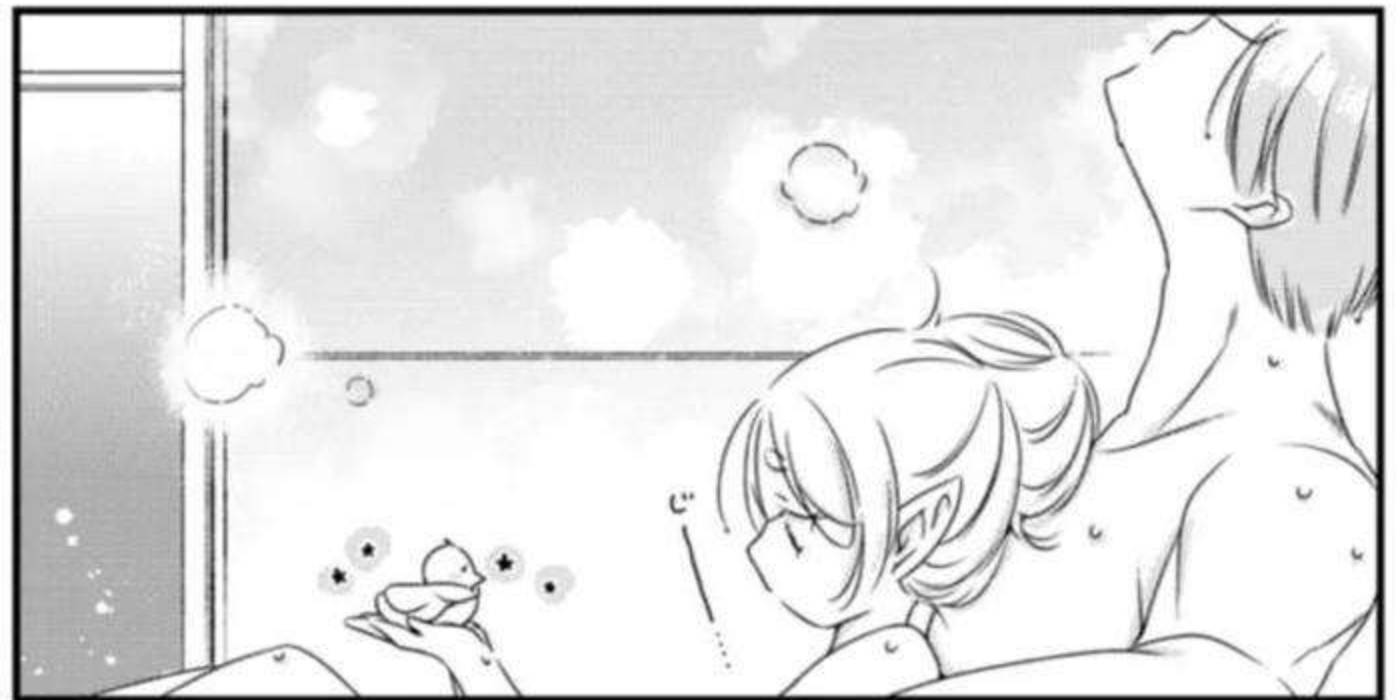


準備

ヒンメル
あのね、

これ、
どうしたらいい？
どんどん溢れて
くるのだけれど。











私はこう見えて
すごく我儘なんだ。

今まで
叶わなかった事全て。

夢で終わらせない、
現実として私の中に
刻み付けたいんだよ。



ヒンメルのも全て。

私のものだ。



ああ…
この感覚。

君の僕に対する
その感情は
僕が君に
抱いている
ものと同じ…

つまり
双方向の
独占欲。





幸せすぎて
どうにかなって
しまいそう…



おはよう
おはよう
おはよう

おはよう
おはよう
おはよう

